

令和元年度採択

プレ戦略イニシアティブ（研究拠点提案型）

拠点名称：交通移動体の安全な自動運転のための

ヒューマンマシンインタラクション研究拠点の形成

拠点代表者：システム情報系・教授・伊藤 誠

研究拠点形成計画の概要

自動車の自動運転を中心に、交通移動体のヒューマンファクターに関する研究拠点として、国内外の関係諸機関と連携し、効率よく研究開発を展開していく。

a. 自動車分野での対応

国内学間連携：科研費基盤研究(A)などで学内外の共同研究に取り組むとともに、自動運転に関する学間連携体である「モビリティ・イノベーション推進連絡協議会」と連携して存在感を示す。

国際連携：日米欧政府間連携としての自動運転に関する「三極会議」に貢献する。また、自動運転に関する日独連携において研究員・学生交流を含めた共同研究を進める。

国内産学連携：SIPにおけるHMIプロジェクトを通じて自動運転の実用化のための協調領域研究に産総研などと協調して貢献する。

b. 自動車以外の分野での対応

航空、船舶、鉄道、宇宙それぞれの分野において、主要研究機関との連携を確立・向上する。

研究拠点形成に係る研究の概要

自動車の自動運転をユーザが安全に利用できるためのヒューマンマシンインタフェース（HMI）の設計を検討するとともに、HMIのデザインだけではカバーしきれない知識・情報の提供のためのユーザ教育を行う。

また、緑内障など視野の障害が自動車の運転にもたらす影響について、視野障害の模擬実際の視野障害患者の運転行動のデータ取得と分析を行い、視野障害を有する方に向けた運転支援のデザインを検討する。この検討を通じて、より一般の疾病や障害、とくに、高次脳機能障害がもたらす影響についても、運転行動の分析と運転支援のデザインに取り組む。

さらに、交通制約者に対するラストマイルの移動支援について、低速自動運転車両が他の交通参加者にもたらす影響を、自由に歩き回ることのできる仮想現実環境において実験を行って分析する。

